

# 夢が叶った 大空を舞うトキたちへ

佐渡の自然からトキが姿を消して以来、27年の歳月が流れ、本日、再び佐渡の大空にはばたく日を迎えました。

かつて全国の里地・里山に広く生息していたトキは、乱獲や生息環境の変化により、絶滅したとされていましたが、昭和5年に佐渡にわずかに生き残っていることが判明しました。

以来、地元住民と行政による地道な生態調査と保護活動は、日本の希少鳥類の保護運動の原点となり、今日の人工増殖成功の礎となりました。その後の高度成長下で、日本は生産と消費第一の効率優先主義の中で、荒んだ時代は最後の生息地佐渡からもトキの樂園を奪い去ってしまいました。ついに保護のための一斉捕獲で佐渡の空から野生のトキは消えました。

幸にも昭和56年、中国で発見されたトキは、その後順調な増殖を続けました。

平成11年には日中友好の強い絆の下、2羽のトキが日本に贈られ、両国の協力により、順調に数を増やしてまいりました。一方、宇治金太郎氏と心を通わせた日本産最後のトキのキンは平成15年ついにその孤独だった生命の灯を消して、日本産のトキが絶滅したことは、誠に残念なことでありました。

われわれ佐渡島民は、今日再びトキをわれわれの胸に取り戻し抱ける喜びに打ち震えております。そしてこの美しい生命を絶滅の淵に追い詰めた人間の所業を深く反省し、「トキの棲めない島には人も住めない」を合言葉に「美しく、環境にやさしい島づくり」のシンボルとして、永遠にこのトキを守り、この島がトキの棲むにふさわしい環境の島であり続けることをお誓い申しあげます。

佐渡市長 高野 宏一郎

(9月25日、トキ試験放鳥記念式典でのあいさつより)

大空へはばいたいたトキたちへの想いを、野生復帰にご尽力されている方々にお聞きしました。



佐藤 春雄さん  
佐渡トキ保護会 顧問

元気良く飛んでいたので安心していきます。全国の皆さんから温かく見守ってもらいたいと思います。トキ本来の優雅でゆつたりした姿は、わたしが望んでいる佐渡の本当の自然です。早くえさ場を見つけ、えさ場の近くにねぐらをとって、一定の生活リズムをとるもどして、みんな10羽仲良く過ごしてほしいと願っています。



近辻 宏帰さん  
元佐渡トキ保護センター

トキ保護増殖に携わっていたみんなの夢が叶いました。私はトキを信じています。みなさんの思いがトキに通じて、この佐渡の風土・人にならば、人と共生する、トキ本来の生活をしていくのだからと、夢ではなくて確信を持っています。次代を担う子どもたちにトキという生きもの、素晴らしさを伝えていきたいと思っています。



高野 毅さん  
トキの野生復帰連絡協議会 会長

キンちゃんとお父さんの力を借りて、再生の手助けができたという思いで胸が一杯でした。30年前は佐渡でトキと人が共に暮らしていたということをもう一度見つめ直すことが、トキと共生できる環境への第一歩なのだと思えます。これから一緒に住んでいく仲間として、私たちが手助けしてあげることが必要だと思います。



仲川 純子さん  
NPO法人トキ野生復帰センター  
事務局長 / 応援団・ニッポン・ミズ・ニッポン

これまでの取組みを思い返すと、ついにこの日がやってきたかと、感無量です。トキが飛び立つ姿を見て、早く環境にならば、たくましく生き抜いていって欲しいと願っています。トキが安心して暮らせるように、トキを見に来られる方々に対して、むやみに近寄らず優しい気持ちで見守ってくださるよう、みんなと呼びかけていきたいと思います。

